

# いのちが大切にされる社会を

## 創立23周年記念講演会に217名

### 「くらしと命・平和みつめ、ともに考えよう」

講師 全日本民医連社会保障委員長 比嘉 努氏



一中、三中支部のみなさんの「花は咲く」、「青い空は」の大合唱で学習講演会のオープニングを飾りました。指揮は三中支部長の林昭子さん。

# さるかどした

八戸医療生活協同組合  
〒031-0001  
八戸市類家5丁目38-20  
発行責任者 内田弘志  
Tel.0178-71-3456

2月23日(土)、午後2時の開会前から福祉公民館大会議室は、座席数を超える217名の参加者で会場いっぱいとなりました。内田弘志理事長のあいさつの後、沖繩からかけつけた講師の比嘉努さんがスライドで映写しながら100分にわたって講演しました。一山義夫平和・社会保障委員長がまとめと閉会のあいさつをしました。

### 在日米軍基地の

#### 74%が沖繩に

沖繩医療生協沖繩協同病院事務局長から沖繩県民医連事務局長となって日夜活動されている比嘉さんは、太平洋戦争で日本の「捨て石」にされた沖繩から、日本復帰後もアメリカ世界戦略の「要め石」に



講師の比嘉努さん

されてきている現状を明らかにしました。

全国の0.6%の面積の沖繩に、在日米軍基地の74%が集中している中で、世界一危険な基地である普天間基地に事故の多いオスプレイが配備され、沖繩の基地強化が進んでいることを告発しました。

### オスプレイ拒否できない「安保」とは？

比嘉さんは、米軍基地が沖繩の経済発展を阻害しているとして、普天間基地

が返還されたら雇用が163倍も増える開発試算があることを紹介しました。知事を先頭に沖繩県民がこぞってオスプレイ配備反対の声を上げていくことを政府はアメリカに伝えようとしなさいと、「日米安保とは何か」と語気を強くしました。

### 消費税に頼らない 社会保障を

沖繩県民の平和なくらしに、日本の平和なくらしがないはずだといかけました。



市街地に囲まれた世界一危険な普天間基地。



オスプレイ飛行ルートに十和田市エリアなど青森県も入っていることがわかる

比嘉さんは、次いで国民のいのちと健康、暮らしについて、原発ゼロ、TPP(環太平洋連携協定)反対とともに「社会保障と税の一体改革」に触れ、税制は「応能負担」の原則で消費税に頼らなくても社会保障の財源ができ、子どもからお年寄りまで誰もが健康で安心して暮らせる社会を築くことができることを資料を使って強調しました。

消費税、参議院選挙で審判を下そう

消費税に頼らない社会保障財源で、子どもからお年寄りまで誰もが健康で安心して暮らせる未来へ。

### 7月の参院選挙で いのちとくらしを 守る審判を

比嘉さんは最後に、平和憲法を守り、いのちとくらしが大切にされる社会を実現するために夏の参議院選挙で、主権を持つ私たち一人ひとりが大切にされる社会のための審判をと呼びかけました。

### 《青森生存権裁判》

仙台高裁へ控訴  
1月25日、青森地方裁判所は、板橋アイさん(組合員・二中支部)と青森市の6名が求めていた70歳以上の生活保護受給者に対する老齢加算の復活訴訟について、これを認めない判決を言い渡しました。



判決の日、青森地裁前で

### 青森地裁、老齢加算に冷たい判決

た。板橋さんたち原告団は、生活実態を無視した判決として仙台高裁に控訴しました。

### 《参加者の感想から》

- ◇沖繩の歴史、現在の状況などを知ることができ非常に有意義でした。
- ◇いままでも知り得なかった沖繩の現状に言葉が失いました。
- ◇沖繩と青森は共通点が多く、この両県が豊かになることが明日の日本の夜明けを築くことになると思う。
- ◇沖繩の現実を知り、今さらながら怒りを感じます。安保はやはり廃棄しなくちゃ。
- ◇米軍の事件、知らないことをたくさん知ることができました。ニュース等で見るよりオスプレイのこわさがわかりました。やはり反対です。
- ◇出て行け！出て行け！いくら叫んでも米軍は日本から出て行きません。どうすれば米軍が日本、沖繩から出て行くのですか、誰か教えて下さい！
- ◇今日、安倍さんがTPP参加を表明した。1本の矢がもうささった。沖繩のみなさんの行動を見習い、私たちもこぶしを上げなくてはならない。
- ◇生活保護問題がテレビや新聞で報道されてから人の命の値がずいぶん安くなりましたね。早く死ぬと言うのですか。
- ◇消費税の増税、生きるのに一杯いっぱいの生活で。
- ◇利益だけを考えずにおじい、おばあが教えてくれることを一番に取り組めるような母親・娘でいたいと思いました。
- ◇沖繩だけでなく、近くの三沢基地の問題にも目を向けていきたいと思う。



### 診療所休診日

(毎月最後の土曜日)

月	休診日
3月	30日
4月	27日
5月	25日

※火曜日と土曜日は午後休診となります。

(理事 桜田八重子)

「シニアはつらつポイント事業」を八戸市が始めました。60歳以上の方が市内の介護施設等でボランティア活動をするとスタンプがもらえ、貯まったポイント数に応じて一年間上限五千円分、はちのへ共通商品券との交換や、市内の福祉団体へ寄付できるというものです。ボランティアをすることで自身の介護予防と、お互いに支え合う地域社会を目指すことを目的としています。

医療生協ボランティアの会「なのはな」は、この事業を知り、積極的にとりくみ、現在委員の半数以上がポイント手帳を持ち活動しています。生協通所リハビリテーションをその事業施設として登録しています。ポイント受講者から3名の入会がありました。会としてもボランティア会員の広がりの期待や、生協高齢者住宅建設に向け、増資の協力をよびかけるきっかけになりました。行事のたびに訴えていくつもりです。

介護保険と同時に出来た「なのはな」は、10年以上経ちました。現状でいいのかと思いつつも、現状でもありますが、ボランティアを通して「元気をもらった」「有意義な時間を過ごせる」等の声に、思いを共有できる喜びもあります。これからも、医療生協のボランティアの会「なのはな」を中軸にして、制度を活用し講習会への参加や、リフレックス開催を企画したりといきいきシニアボランティア活動を取り組んでいこうと思います。